

学習の手引き

2年生

教科	観点の内容	
音楽	知識 技能	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わりと、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、聞き取り、創作の技能を身につけている。</p>
		<p>おもな評価の項目（予定） 各テスト（小テスト、定期考査、実技テスト） ワークシートの設問に対する解答 など</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>観点の内容 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽の特徴を理解したうえで、評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができている。</p>
		<p>おもな評価の項目（予定） 各テスト（小テスト、定期考査） ワークシートの設問に対する解答 グループワークの内容 など</p>
	主体的に学 習に取り組 む態度	<p>観点の内容 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいこうとしている。</p>
		<p>おもな評価の項目（予定） 振り返りによる自己評価や相互評価 ワークシートの設問に対する解答 グループワークの内容 授業への取り組み など</p>
<p>学習の進め方のヒント</p> <p>①自分の学習を見通したり、学習のふり返りをしたりして、音楽文化や歌唱、楽器演奏に親しむことができるように、音楽活動を楽しむ視点を常にもちましょう。</p> <p>②鑑賞における、楽器や、曲の構成、作曲者が曲に込めた思いなどは、教科書やワークシートを活用し、反復学習をし、定着させることが大切です。</p> <p>③授業では、感染症対策を講じながら楽器を演奏したり、歌を歌ったりします。家庭での練習が難しい場合、楽譜を見て気をつける部分を確認したり、難しい部分にマークをつけたりしておく、楽譜から情報を読み取る力が向上します。できることから始めてみましょう。</p> <p>④授業では、ペアワークやグループワークも行います。自分から相手に意見を伝えたり、相手の意見に共感するようにしましょう。活発な意見交換は、自分にはない意見を知ることができたり、自分の思考を深めたりすることに繋がります。</p>		